

平成28年度 事業報告書

学校法人 松本学園

事 業 報 告 書

1 法人の概要

(1) 設置学校・学科等

松本短期大学 幼児保育学科
 介護福祉学科
 看護学科
 専攻科(福祉専攻)

松本短大幼稚園

(2) 当該学校・学科等の入学定員、学生数の状況

○松本短期大学の状況

平成 28 年 5 月 1 日現在での在籍者数は下表のとおり。

また平成 29 年 3 月の卒業生数は、幼児保育学科 97 名、介護福祉学科 45 名、看護学科 52 名、専攻科 10 名(合計 204 名)でした。

平成 28 年 5 月 1 日現在

学科名	定 員		学 生 数 (男 117 : 女 391)							合計
	入学 定員	収容 定員	H28 年度 入学生	H27 年度 入学生	H26 年度 入学生	H25 年度 入学生	H24 年度 入学生	H23 年度 入学生	H22 年度 入学生	
幼 保	100	200	100	102	2	0	0	0	0	204
介 護	65	130	37	45	1	0	0	0	0	83
看 護	70	200	62	66	54	23	3	2	0	210
計	235	530	199	213	57	23	3	2	0	497
専攻科	20	20	11	0	0	0	0	0	0	11
合 計	255	550	210	213	57	23	3	2	0	508

H28 年度 定員充足率 92.36%(総現員/収容定員) 82.35%(入学者数/入学定員)

H27 年度 定員充足率 91.09%(総現員/収容定員) 88.63%(入学者数/入学定員)

H26 年度 定員充足率 98.38%(総現員/収容定員) 83.14%(入学者数/入学定員)

H25 年度 定員充足率 98.57%(総現員/収容定員) 96.15%(入学者数/入学定員)

○松本短大幼稚園の状況 10 ページ参照

(3) 役員・教職員に関すること (別紙1～3参照)

○理事・監事・評議員の状況

清水英治監事の辞任申し出に伴う後任監事の選任が行われ、松本短期大学名誉教授である柳澤秋孝氏が就任しました。任期は前任者の残任期間である平成30年5月28日まで。

また、学長の交代により木内義勝学長が理事・評議員に選任されたほか、平成27年度末で退職した松本短期大学事務長浅川猛評議員に代わり、学校法人松本学園事務局長渡邊渉氏が評議員に選任されました。

平成28年度中の理事会・評議員会開催状況は下表のとおり。

理事会			評議員会		
年月日	主な議案	備考	年月日	主な議案	備考
H28. 5. 20	平成27年度決算ほか		H28. 5. 20	平成27年度決算ほか	
H28. 8. 23	諸規程の制定ほか		H28. 8. 23	諸規程の制定ほか	
H28. 10. 11	第三者評価ほか		H28. 10. 11	第三者評価ほか	
H28. 12. 20	諸規程の制定ほか		H28. 12. 20	諸規程の制定ほか	
H29. 2. 20	平成29年度予算ほか		H29. 2. 20	平成29年度予算ほか	

○専任教職員の状況

任期満了による学長の選任について諸規程に基づき選考を行い、社会福祉法人ハーモニー理事である木内義勝氏が選任されました。任期は平成28年4月から2年間。

教員の退職に伴い平成28年4月1日付にて生田恵津子教授、山田真治教授、高下梓助教、山城久弥助教(幼児保育学科)、奥原香織助教(看護学科)の5名を新規採用したほか、平成28年7月1日付にて増沢景子助手(看護学科)1名を採用しました。合わせて、職員の退職に伴い平成28年4月1日付にて職員2名を新規採用しました。

また、専任教員の内部昇格については合津千香准教授(介護福祉学科)が教授へ昇格しました。

なお平成28年度末での退職者は 8名です。

2 事業の概要

I 平成28年度 松本短期大学 事業の概要

(1) 教育・研究活動に関する事業

○施設、設備の充実

—施設整備—

・学生駐車場整備事業として平成28年4月から造成工事を行い、同年7月に駐車台数221台駐車場が完成しました。また、グラウンド側から侵入可能なスロープは平成29年3月に完成しました。事業費は下記のとおりです。

設計監理業務： 3,240千円

施工業者： 67,500千円

スロープ工事 1,215千円

—教育環境整備—

・学内の教育環境整備の一環としてグラウンド整備事業を行い、フットサルコート・鉄棒等の遊具を有するグラウンド工事を行いました。工事期間は平成28年9月から平成29年3月まで、3月27日に引き渡しを受けました。事業費は下記のとおりです。

設計監理業務： 1,404千円

施工業者： 122,040千円

○看護師国家試験の結果

各年度の受験者数・合格者数・合格率の推移は下表のとおり。

受験年度	卒業 者数	受験者数			合格者	不合 格者	合格率	
		当該卒業年度の 受験者 *	既卒の 受験者				本学	全国
H20年度	45	45	45 (0)	-	38	7	84.4%	89.9%
H21年度	55	62	55 (8)	7	53	9	85.5%	89.5%
H22年度	45	52	45 (5)	7	43	9	82.7%	91.8%
H23年度	43	50	43 (5)	7	49	1	98.0%	90.1%
H24年度	39	41	39 (8)	2	36	5	87.8%	88.8%
H25年度	40	45	40 (12)	5	40	5	88.9%	89.8%
H26年度	59	63	59 (12)	4	63	0	100.0%	90.0%
H27年度	45	44	44 (12)	0	43	1	97.8%	89.4%
H28年度	52	54	52 (13)	2	53	1	98.1%	92.7%
合計	423	456	422 (75)	34	418	38	Ave 91.7%	90.2%

* () は、修業年限3年を越えて卒業した者の内数

平成 26 年度から、国家試験対策として非常勤助手 1 名（看護専門学校の前教員）を年度当初から採用して国家試験対策に対応しています。平成 29 年 2 月 19 日（日）に第 106 回看護師国家試験が実施され、卒業生 52 名と既卒者 2 名合計 54 名が受験し、53 名が合格という結果を得ました。

○FD・SD活動

FD・SD活動の一環として下記の活動を行いました。

- ・授業評価について授業の中間評価を行ない、年度内での授業改善の試みを導入したが、教員個人任せのままであり、今後の体制づくり課題となりました。
- ・学生からの授業アンケート VOICE については例年の通り実施しました。質問項目の内容については検討を行い平成 29 年度から変更予定です。
- ・授業改善の一助となるよう、教員による授業の相互参観を実施しました。
- ・短期大学基準協会学生アンケートを実施し、集計結果を教授会へ提出いたしました。
- ・外部講師による講習会を開催し、外部評価の目的と教職員の取り組みについて 2 講演いただきました。

第一回 9 月 14 日 講師：松本大学松商短期大学部 ALO 浜崎央先生 出席者 42 名

第二回 2 月 22 日 講師：清泉女学院短期大学副学長 西山薫先生 出席者 44 名

- ・外部講習会への参加状況は、松本大学公開FD研修会へは教職員 6 名が参加し、教育ソフトウェア主催のFD研修会へは教員 2 名が参加しました。

○民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生の状況

介護福祉学科で受け入れを行っている民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生について、平成 27 年度入学生 5 名が卒業を果たしましたが、内 1 名は介護福祉士資格を取得できませんでした。また、平成 28 年度入学生 2 名は 2 年生へと進級しました。

平成 28 年度民間活用委託訓練事業による委託料収入は 2 年生分 5,751 千円、1 年生分 2,300 千円。

なお平成 29 年度入試では 4 名が受験し 4 名が入学しました。

○図書館

「松本短期大学研究紀要第 26 号」を平成 29 年 3 月 31 日付で発行しました。

平成 29 年 3 月末現在、蔵書数 46,488 冊 DVD 他視聴覚点数 1,528 点 雑誌種数 95 誌（寄贈誌 3 誌を含む）

(2) 学生支援に関する事業

○進学・就職活動支援について

進学・就職活動支援については、事務局学生部が中心となり、学生支援委員会（教員組織）と連携して行っています。

学生部では、県内外の保育園、幼稚園、障害者支援施設、老人福祉施設、病院等から送付される求人票やパンフレット等を施設別に整理して、関係学科別にコーナーを設け、学生の閲覧に供しています。県内求人は求人票を、県外は求人票を一覧表にして、学生部前の掲示板に張り出して、求人情報を提供しています。

また、特に幼児保育学科、介護福祉学科の場合、学生部では学科と連携して、学科ごとに適切な時期を見て「進路ガイダンス」を実施しています。さらに、進路相談に訪れる学生に対して、必要に応じた情報の提供や模擬面接の実施、履歴書の書き方指導等の個別支援も行いました。平成28年度、介護福祉学科・専攻科の学生に対し「就職相談会」を36の事業所様を迎え実施しました。学生・事業所様双方から好評を得、学生の就職活動がより円滑に行え、一定の効果がありました。

幼児保育学科での「公務員模擬テスト」や外部講師による「公務員対策講座」の実施が3年目となり、28年度は9市町村へ30名が合格しました。

その他、本学を訪れる福祉施設・病院・自治体等の関係者との面談を通じて情報把握や求人開拓を行いました。

進学については、全国の大学・短期大学・専門学校から送付される入学案内等は、進学関連コーナーを設けて閲覧に供し、希望の学生には学科と連携して個別指導をしています。

平成28年度卒業生・修了生の進学・就職状況は「別紙4」のとおりです。

○奨学金について

日本学生支援機構、長野県看護職員修学資金、介護福祉士等修学資金、病院からの奨学金受給状況は次のとおりです。

平成 29 年 3 月 1 日現在

学科 学年	日本学生支援機構			長野県看護職員修学資金	病院	介護福祉士等修学資金	合計
	計	一種	二種				
幼 1 年	52	11	41				52
幼 2 年	40	15	25				40
介 1 年	13	4	9			12	25
介 2 年	15	6	9			4	19
看 1 年	26	7	19	2	3		31
看 2 年	27	14	13	3	7		37
看 3 年	15	4	11	4	10		29
専攻科	2	1	1				2
合計	190	62	128	9	20	16	235
昨年同期	182	66	116	10	32	8	232
一昨年同期	191	55	136	10	37	8	246
一昨々年同期	196	37	147	13	40	12	261

また、平成 28 年度特待生は次の 3 名です。

幼児保育学科 2 年生

介護福祉学科 2 年生

看護学科 3 年生

○保健室・学生相談

保健室では、年度当初のオリエンテーション時に、健康管理についての指導及び、在学生全員に対して内科・耳鼻科健診を実施し、新入生と看護学科全学年に対しては胸部レントゲン撮影を行い、学生の健康状態把握に努めています。

また、学生の心身の悩みに答えるため、月に 4 回カウンセラーを招き、希望者に対して学生相談を実施しています。

平成 28 年度は、保健室利用者は 15 人、学生相談者は 14 人の利用がありました。

(3) 入試・広報活動に関する事業

○学生確保対策

—入試日程—

介護福祉学科では、受験生に対しより受験しやすい環境を整えるため、A0入試5回と随時型A0入試を入試日程に盛り込んでいます。その結果、A0入試は5回実施され14名のエントリーに対し13名の入学者を得ました。

—ガイダンス—

本学主催の高校進路担当者説明会を6月に開催し、17名の出席を得たほか、キャンパス見学会(6月・7月・8月・9月)を4回行い460名・進学相談会(10月)を2回開催し59名の参加を得ました。また平成29年3月25日(土)に新しくキャンパス見学会「春のマツタン見学会」を行い63名の参加を得ました。

学校見学希望者への対応は随時行い、業者・高校主催による本学の見学は3校(茅野高等学校・明科高等学校・田川高等学校)を受け入れました。新聞社主催等で行われた県内高校進路相談会や会場形式相談会への参加は、のべ32名の教職員が92ヶ所へ講師として参加をしました。説明を聞いてくれた生徒数は950名を超えます。

平成28年度入試結果の詳細は「別紙5」のとおりです。

○広報活動

前年度に引き続き、過去の問題や傾向等をまとめた小冊子「松本短期大学入試ガイド」を作成し、県内高校や受験生に配布しました。

本学のホームページは、教育関連の情報や財務状況の掲載はもちろん、入試情報や公開講座などの更新を随時行っています。

また、学内報「松短 NEWS 夏号 Vol.14」を7月に、「松短 NEWS 冬号 Vol.15」を12月に発行しました。

平成29年3月に新しくリクナビを導入し、資料請求者の確保をはじめ、教育情報や就職状況、在学生の様子や行事日程などの更新を随時行っています。

○地域連携

—公開講座—

平成28年度公開講座は2回開催し、第1回目は「みんなで支え合う地域づくり」と題して、笹賀地区での取り組みについて報告がなされました。第2回目は幼児保育学科が主体となり、音楽を身近に感じることができるプログラムを用いて開催しました。

・第1回：平成28年8月27日(土) 参加者60名

テーマ「みんなで支え合う地域づくり」

講師：本学学長 木内義勝氏

講師：笹賀地区福祉の地域づくり協議会会長 太田尚行氏

講師：本と子どもの発達を考える会 豊嶋さおり氏

—筑北村・松本短期大学連携事業「ちくほくプラス」—

平成24年3月に本学と筑北村が締結した協定に基づき、本学の専門性を活かした地域貢献を進めました。

- ・5月12日 自己啓発学習 於：聖南中学校
 - ・8月10日 筑北村学童交流会 福祉の根っこプロジェクト 於：本学
 - ・8月21日 そよかぜふくしあわせまつり ハンドマッサージ 出展 於：筑北村社協
 - ・10月15～16日 おとぎ祭における筑北村物産展ブース設置 於：本学
 - ・3月23日 筑北村学童交流会 福祉の根っこプロジェクト 於：本学
- 「マツタンスタンプラリー」

—地域交流—

- ・平成28年11月15日 笹賀地区との地域連携協定を締結。
- ・平成29年2月21日 筑北村との地域連携協定の契約更新を実施。

○社会人向け研修事業

—喀痰吸引等研修事業—

法改正により、介護福祉士や一定の教育を受けた介護職員等による痰の吸引等が可能となりました。平成24年度は長野県からの委託事業として本研修を行いました。翌年度からは松本短期大学が県の登録研修機関となり、学校の独自事業として実施しています。

また、県の要請を受けて平成28年度は業務内容の一部を変更し、介護福祉士養成校の卒業生について受け入れる業務を行いました。

- ・平成28年度の実施状況

(一般対象募 募集人員95名)

応募者数 77名

受講決定者数 77名

研修修了者数 77名

(卒業生対象 募集人員50名)

応募者数 39名

受講決定者数 39名 (3名キャンセル)

研修修了者数 35名 (1名受講中)

—実務者研修—

平成28年度から介護福祉士の国家試験に挑戦する「実務経験ルート」では、3年以上の実務経験と450時間以上の実務者研修を修了していることが必要となりました。

これを受け、本学では通信課程の実務者研修を行うための指定を受け、平成26年度からこの研修を開始しました。

・平成28年度の実施状況（募集人員各50名）

第Ⅰ期研修受講生数 6名 …… 平成28年12月受講修了

第Ⅱ期研修受講生数 2名 …… 平成29年3月現在受講中

4) その他

○第三者評価

教育活動等の総合評価を行い、短期大学の主体的な改革・改善を支援して、教育研究水準の向上、及び質的充実を図るための、第三者評価を平成29年度に受ける予定です。

現在、建学の精神及び教育目標を精査し明文化して、そこから明確な学習成果に結び付け、それが可視化できるように努めています。その際、第三者評価で注目されているのは建学の精神及び教育目標に基づき、PDCAサイクル(plan-do-check-act)がいかに回っているかということです。

学生への支援をいかに向上させ、学生の成長につなげるのかが目的になるため、アンケート調査を行うだけでなく、それをどのように改善につなげてさらに評価して発展させていくかをまとめています。

Ⅱ 平成28年度 松本短大幼稚園 事業の概要

(1) 幼稚園教育方針

幼稚園は学校教育のスタートであり、生きる力の基礎を培うため、就学前の子どもたちが保育者の指導のもと、生活や遊び、活動、行事を通して様々なことを学び、その後の教育の基礎が培われる事を大切にしている。幼稚園での日々の生活や遊びそのものが子どもたちにとっては学びであり、活動や遊びを通して子ども達の成長、育ちのための的確な指導を行うことが、保育者にとっての課題であり大切にしている事であり、「保育はひとり」の言葉を大切にしたい。

松本短大幼稚園では、文部科学省から施行されている「幼稚園教育要領」の指導内容を基盤に、幼稚園独自の創意工夫を加えての幼稚園の教育目標を定め保育を行っている。

「幼稚園教育要領」のなかで、特に

- ・生きる力の基礎の育成
- ・豊かな心と健やかな体の育成

この二点に力が入れられ、指導の内容としては、下記の五つの領域が上げられている。

- ・健康な心と体を育てる領域……「健康」
- ・自立心、人との関わりに関する領域……「人間関係」
- ・思考力の基礎を育てる領域……「環境」
- ・言葉の獲得に関する領域……「言葉」
- ・感性と表現に関する領域……「表現」

上記の五つの領域の指導と共に、幼稚園の教育目標として下記の三点をあげている。

- ・やさしく ……やさしい心（あいさつ、異年齢）
- ・つよく ……つよい体（運動遊び・集団遊び）
- ・すこやかに…すこやかな育ち（遊びの充実・生きる力）

このような教育目標のもとに、子どもの心と知恵と体の調和のとれた成長をはかり、幼稚園から小学校への学びのつながりや、人格の育ちを大切にする教育を目指している。

(2) 園児の概要

・28年度園児数

入園児	年少 22名	年中 6名	年長 2名	
在園児	3名	27名	31名	
計	25名	33名	33名	91名

- ・満3歳児入園 7名
- ・年間転入児（転園・転勤） 1名
- ・年間転出児（転勤・転居・転園等） 12名

(3) 保護者とのかかわり

- ・保護者会活動 ・幼稚園行事への参加・保護者会主催活動
- ・保育参観、年間5回 ・家庭訪問 ・個別懇談会 ・学級懇談会2回

(4) 園内、園外の研究保育

- ・職員で保育研究会を行い、気になる園児の様子、保育について、教育課程等を全員で話し合う。
- ・6月・2年生教育実習における各クラスの研究保育
- ・5月17日 研究保育 年長ふじ組 児玉 麻美先生
忍者ごっこ「いろいろな修行をしよう」の園内研究保育
- ・6月 8日 研究保育 年長さくら組 上條 由香子先生
お化けづくり 「お化けになろう」の園内研究保育
- ・7月 8日 研究保育 年中ゆり組 平林 愛夏先生
パンやさんごっこ 「パンをつくろう」の園内研究保育
- ・10月25日 研究保育 年中すずらん組 米窪 あや子先生
お店屋さんごっこ 「おみせやさんになってあそぼう」の園内研究保育
- ・11月17日 研究保育 年少ばら組 渡邊 千裕先生
好きな遊びを楽しむ「おうちごっこ、消防車づくり」の園内研究保育
- ・1月25日 研究保育 年少ひまわり組 古畑 菜穂先生
お化けごっこ 「おばけとともだちになろう」の園内研究保育
- ・6月11日、7月28日29日、10月21日、11月26日・県私立幼稚園協会研修
- ・4月22日、6月17日・中信地区私立幼稚園協会の一斉研修

(5) 教育実習受け入れ・短大授業等

- ・6月 6日～17日 松本短期大学2年生 4名
- ・見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究保育
- ・6月27日～7月8日 松本短期大学2年生 4名
- ・見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究保育
- ・6月21日・9月 6・7日 明善中学校2年 職場体験 3名
- ・9月26日～10月 7日 松本短期大学1年生 7名
- ・見学観察実習・子どもたちとのかかわり・部分実習
- ・12月 6日 教職実践演習、学級運営について、短大での授業。
幼稚園より米窪先生、児玉先生
- ・12月 8日 松本短期大学2年生の教育実践演習における実習参加
年中、年長組66名
- ・2月 8日 短大音楽授業の発表見学・山口先生の授業

松本短期大学幼児保育学科の学生さんとの交流

(6) 預かり保育, 未就園児親子教室, 体験保育

- ・年間預かり人数 ・ 3、133人
- ・早朝預かり保育 401人
- ・平日預かり保育 2、274人
- ・夏休み預かり保育 17日間 265人
- ・冬休み預かり保育 4日間 41人
- ・春休み預かり保育 11日間 152人
- ・未就園児親子教室 毎月平均 親子 25組程参加

未就園児親子教室の活動内容

- ・ 4月20日 ・ 28年度の活動計画の説明
- ・ 5月18日 ・ 砂遊び
- ・ 6月23日 ・ 親子運動あそび
- ・ 7月15日 ・ プールあそび
- ・ 8月23日 ・ 幼稚園での遊び
- ・ 9月27日 ・ 運動会
- ・ 10月27日 ・ 歯科指導
- ・ 11月16日 ・ ゲームあそび
- ・ 12月21日 ・ クリスマス会
- ・ 1月18日 ・ 短大の先生による製作遊び
- ・ 2月 7日 ・ まとめの会、在園児交流
- ・ 3月 2日 ・ ひよこ組29年度説明 年間 12回開催

体験保育, 行事参加

- ・ 6月 1日 ・ 幼稚園紹介・クラスに入って在園児交流
- ・ 7月 4日 ・ 園バスに乗る・在園児と一緒に弁当を食べる
- ・ 10月 5日 ・ 在園児との交流、幼稚園入園説明会

(7) 地域とのかかわり

- ・ 7月 ローズガーデン訪問
- ・ 12月 高齢者の皆さんとの交流会
- ・ 2月 お世話になった方々にカレンダー配り
警察, 村井駅, 園医, 消防署, ローズガーデン, 松本短大等

(8) 園外保育

- ・ 園外保育 年間 随時

- ・ 5 / 27 時計博物館
- ・ 10 / 14 松本見学
- ・ 7 / 5、11 今井プール
- ・ 9 / 28 ぶどう狩り
- ・ 11 / 18 消防署見学

(9) 特別保育

- ・ 課外運動遊び指導、運動保育士の先生による、運動あそびの指導
- ・ 5月、7月、9月、11月、1月に指導をしていただく。
- ・ サッカーチーム、セダックの監督により、年長組が5月から2月まで6回のサッカー指導を受ける。

(10) 今年度の取り組み

28年度は、新任の先生4名を迎え職員体制も新しくなり、園内研究保育に力を入れ、現状の子ども達の様子や育ってきた事、これからの指導等、ねらいや課題をもち活動を進めることを大切にしてきた。各クラスごとに園内研究保育を行い、日々を追っての保育の取り組み、子どもの様子を記録し、保育を省みての遊びや活動の深まりを大切にしてきた。お互いに保育参観をして、個人の育ち、クラス集団の育ち、保育の進め方、学びのある質の高い遊びや、活動を行うために話し合いを行い、幼稚園教育課程の内容が現状の子ども達に合っているかの検討も行った。

また保護者の皆さんにアンケートをとり、・けじめのある保育をしてほしい・保護者の手伝いを減らしてほしいなどの意見が出された。それを受けて、のびのびと意欲的に遊んだり活動する中にも、けじめをもち、メリハリのある保育を大切にしたり、日々の保育環境の安全にも心がけ、使用しない靴箱を撤去して広々とした環境づくりを行った。また、保護者の皆さんのお手伝いも極力減らし、負担を軽減してきた。これからも、行事のやり方等、保護者の皆さんの要望を理解し、保育に取り入れられることは、積極的に取り入れていきたい。

また、同時に職員の自己点検を行い、子どもに合わせた指導計画の作成、幼児理解を深め、より良い学級経営、保護者とのかかわり、地域とのかかわりを大切にする等を今後の課題とした。

このような、保護者アンケートの結果や自己点検の結果を、保護者の皆さんにお知らせし、幼稚園の取り組みを理解していただくように努めた。今後は自己点検等を基に、学校評価の公表ができるように、これからの取り組みが課題となっている。

また子育て支援として、働く保護者の皆さんが多くなっているため、早朝の預かり保育、通常の預かり保育、研修会等で休園になった場合の預かり保育、長期休み中の預かり保育にも力を入れ、預かり保育の利用者も多くなっている。

また、未就園児親子教室にも力を入れ、毎回の活動内容の充実や、幼稚園ならではの集団遊びや、子ども同士の係わり合い、保護者同士の係わり合いにも力を入れ保育を行ってきた。入園児の85%が、未就園児教室に参加していたという実態から、より多くの未就園児に来ていただき、活動を充実させ入園していただけるような取り組みが大切であると確認した。体験保育においても、在園児のクラスに入り一緒に活動する事を心がけ、お弁当を食べたり、園庭内を園バスに乗ったりして子どもたちが喜ぶ活動を取り入れてみた。

また、保育活動においても、短大の美術の先生にご指導いただき、「製作教室」を行い、等身大の自分を描いたり、ダンボール箱に絵を描き高く積み上げる活動を楽しんだり、短大の学生さんの保育実践授業に参加させていただいたり、音楽授業を参観させていただき、学生さんとの交流を楽しませていただく事も当園の大きな特色である。時には、運動保育士の先生においでいただき、運動遊びの指導を進めていただき、保育の中でも担任指導の運動遊びの活動を学年ごとに行い、また課外運動遊びを行っていただく中で、転んでも手が出るようになったり、鉄棒、縄跳び、外遊びを積極的に行う園児が多くなっている。

このような保育の中で、子どもの遊びや活動を通しての、子どもの学びを大切に捉え、「目に見える子どもの育ちとともに、目に見えない子どもの心の育ち」を大切にしてきた。「保育はオールラウンドに」「保育は人なり」の保育に対する課題、思いを大切に日々の保育に取り組んできたが、29年度入園児の減少、29年度、未就園児教室の参加者減少がみられ、新入園児増加に向けて、また未就園児教室の参加者増加に向けての取り組みが課題となっている。

この課題を受け、改めて、幼稚園が取り組むこととして

- ・教育内容
- ・幼稚園が一番力を入れて保育することは何か
- ・保育や、活動や遊びに「ねらい」を持ち、五領域の指導内容を把握し、保育に取り組む
- ・生活習慣を身につける
- ・けじめのある生活
- ・人との関わりを大切に、友達と関わり合う
- ・学びのある遊び、学びのある活動、学びのある行事を目指す
- ・子どもの成長を保護者に観ていただき、成長を感じていただく
- ・未就園児教室 ・未就園児親子教室に多くの方に参加していただく
- ・保育補助の先生に入ってもらい手厚い保育を行う
- ・未就園児教室の回数や、内容を検討する
- ・子育て支援
- ・預かり保育の充実
- ・保護者会の仕事の減少

- ・保護者会や、保護者の皆さんのお手伝いや仕事を減らす
- ・幼稚園をアピールして知っていただく
- ・ホームページの活用

このような上記の内容に取り組み、一人でも多くの子どもさんに入園していただけるように、保育を進めていきたい。

(11) 29年度の取り組み

29年度は、保育内容の充実とともに、学びのある遊び、学びのある活動、学びのある行事を目指し、保育の質の向上を心がけたい。短大幼稚園の特色でもある、短大の先生方のご指導をいただいたり、短大訪問をさせていただき学生さんとの交流も計画させていただき、当園の特色を活かしていきたい。また、入園児減少、未就園児教室参加者減少の現状を踏まえ、28年度3月に、松本短大と幼稚園とで「園児増加に向けてのプロジェクト」を立ち上げていただき、課題に向けての検討を行い、29年度は、園長先生を中心に、新しい園長代行の先生や、短大事務局長先生にもおいでいただき、「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」の生活習慣をはじめとし、運動あそびの取り組み等を通して、頑張ってきた喜びを感じ、自信をもったり、友達との関わりを深めたり、また、日々の質の高い保育を進め、クラスの枠を超え職員皆で全園児に寄り添い保育にあたることを今年度の課題としたり、保護者の皆さんの行事前のお手伝い等を減らし、負担をかけないようにしていきたい。

新年度になり、園長代行の先生や事務局長の先生にも、朝の登園時に保護者の方や、子ども達に声をかけて頂いたり、保育現場の様子をみていただき、保育指導も行っていただいている。参観日の保護者の皆さんへのお話も、学年に合ったお話をしていただき、「参考になった」との意見や、「幼稚園、元気だね!」との声もいただき、さらに職員皆で気持ちいを合わせ、力を合わせて保育に取り組み、入園児増加となるように保育に取り組んでいきたい。

3 財務の概要

(1) 収支の状況

過去5年間の収支の推移は、[別紙8]のとおりである。事業活動収入が、平成28年度においては前年度より約21,662千円増の約705,874千円、事業活動支出は前年度より約35,821千円増の671,921千円となっており、基本金組入前収支差額は、約33,953千円となった。ただ、平成28年度は、駐車場及びグラウンドの整備により、基本金組入額が約177,112千円となったため、収支の差額は、約143,159千円のマイナスとなり、翌年度繰越収支差額は、約132,030千円のマイナスとなった。基本組入額が増えたためとはいえ、マイナスとなるのは勿論良い傾向ではない。また、基本金組入前の収支差額も数年前以前と比較すると大幅に減額となっている。また、学生生徒等納付金が前年度より、1,435千円増の約528,112千円となったが、まだまだ数年前以前とは比べものにならない。更なる学生増、園児増を図っていかなければならない。補助金は、前年度に比べ11,857千円増となったが、まだまだ他の短大に比べ、経常費補助金の額が少ない。今後も補助金の増額を図っていく必要がある。

また、現金・預金は平成27年度に比べ、約291,118千円減の約836,273千円となっているが、固定資産に施設設備引当特定資産として、2億円を計上してあるので、実質は、約91,118千円減である。県内の他の私立短大の流動資産保有額に比べ、少なく、安定的な経営を進める上からも、今後とも増加を図っていかなければならない。

(2) 主要な財務比率について

本学の平成27年度、28年度の財務比率及び平成27年度の全国短大法人平均財務比率は、[別紙9]の通りであるが、経営状況は、改善されてきたと言えよう。経営状況を示す事業活動収支差額比率（基本金組入前収支差額を事業活動収入で除いたもの）においても、全国平均が△0.2%であるのに対し、本学の平成27年度は7.0%、平成28年度は4.9%となっており、全国平均を上回っており、経営状況が良いことが伺える。ただ、この数値は、年々減少しており、今後は、もっと増やしていく必要がある。人件費比率は、平成27年度は66.3%、平成28年度は67.7%で全国平均を大幅に上回っている。経営的には50%以下が望ましいと

言われており、今後とも人件費の削減に取り組んでいく必要がある。

(3) 主な施設・設備の整備状況

平成 28 年度に短大駐車場の整備とグラウンドの整備工事を実施した。平成 29 年度には、音楽棟の耐震化工事を予定している。

学校法人松本学園 役員・評議員名簿

平成28年10月12日

職名	氏名	選任 条項	郵便番号	住 所	電話番号
理事長・評議員	銭坂久紀	5-2 6-1-1 21-1			
理事・評議員	木内義勝	6-1-1 21-1			
理事・評議員	赤羽郁夫	6-1-2 21-3			
理事・評議員	百瀬常雄	6-1-2 21-1			
理事・評議員	三井経光	6-1-2 21-3			
理事・評議員	坪田明男	6-1-3 21-3			
理事・評議員	笠原貞行	6-1-3 21-3			
理事・評議員	上條節子	6-1-3 21-1			
監事	草間繁	7-1			
監事	柳澤秋孝	7-1			
評議員	渡邊渉	21-1			
評議員	片山司	21-3			
評議員	金井清志	21-3			
評議員	翠川洋子	21-3			
評議員	窪田高明	21-3			
評議員	手塚富喜子	21-2			
評議員	柳沢佳澄	21-2			
評議員	鳥羽寿々子	21-2			
評議員	伊藤喜美子	21-2			

平成28年度 専任教職員住所録

平成28年7月1日現在

No.	職名	氏名	郵便番号	住 所	電話番号	携帯電話
1	理事長	錢坂久紀				
2	学 長	木内義勝				
【 幼児保育学科 】						
3	学科長・教授	内藤美智子				
4	教 授	斉藤 信				
5	教 授	生田 惠津子				
6	教 授	山田 真 治				
7	准 教 授	石毛 久美子				
8	講 師	山口 真 理				
9	講 師	白金 俊 二				
10	助 教	保高 一 仁				
11	助 教	高下 梓				
12	助 教	山城 久 弥				
【 介護福祉学科・専攻科 】						
13	学科長・教授	木村 久 枝				
14	教 授	釜土 禮 子				
15	教 授	丸山 順 子				
16	教 授	合津 千 香				
17	准 教 授	赤沢 昌 子				
18	講 師	齋藤 真 木				
19	助 教	福田 明				
20	助 教	小坂 みづほ				
【 看 護 学 科 】						
21	学科長・教授	杉浦 惠 子				
22	教 授	百瀬 ちどり				
23	教 授	横山 芳 子				
24	教 授	渡辺 千枝子				
25	教 授	小澤 絹 恵				
26	教 授	山下 恵 子				
27	助 教	嶋崎 昌 子				
28	助 教	春日 仁 子				
29	助 教	山本 浩 子				
30	助 教	畔上 一 代				
31	助 教	垣内 いづみ				
32	助 教	山下 照 美				
33	助 教	清沢 京 子				
34	助 教	奥原 香 織				
35	助 手	八島 思 保				
36	助 手	増沢 景 子				
【 事 務 局 】						
37	法人事務局長	渡辺 涉				
38	短大事務長	玉井 和 宏				
39	学 生 部 長	岩田 滝 彦				
40	主 任	荒井 京 子				
41	主 任	小松 昭 和				
42	主 事	竹岡 雄一郎				
43	主 事	大和 由美子				
44	主 事	藤森 永理子				
45	図書館司書	小山 純 奈				
46	主 事	萩原 美恵子				
47	主 事	丸山 香 織				
48	主 事	花村 仁 美				
49	主 事	松島 文 代				
50	主 事	坂井 祐 二				
51	技 術 職 員	塚本 径 久				

平成28年度 非常勤教員 住所録

平成28年10月1日現在

No.	職名	氏名	郵便番号	住所	電話番号	FAX・携帯等
1	非常勤講師	上松典子				
2	非常勤講師	青木孝子				
3	非常勤講師	浅輪 賢治				
4	非常勤講師	阿部 奈奈				
5	非常勤講師	雨宮 邦子				
6	非常勤講師	荒 敏昭				
7	非常勤講師	飯田しのぶ				
8	非常勤講師	磯尾 禮子				
9	非常勤講師	市川 元基				
10	非常勤講師	伊藤 かつおる				
11	非常勤講師	伊東 和広				
12	非常勤講師	稲葉 雄二				
13	非常勤講師	井上 千津子				
14	非常勤講師	今井 寿生				
15	非常勤講師	岩垂(高倉)美和				
16	非常勤講師	太田 節子				
17	非常勤講師	沖嶋 直子				
18	非常勤講師	乙黒 仁美				
19	非常勤講師	岳 鳳鳴				
20	非常勤講師	鎌倉 哲子				
21	非常勤講師	上條 節子				
22	非常勤講師	川上 由行				
23	非常勤講師	行田 輝廣				
24	非常勤講師	黒澤 優子				
25	非常勤講師	神戸 美佳				
26	非常勤講師	齊藤 俊子				
27	非常勤講師	澤野 神二				
28	非常勤講師	塩原 茂樹				
29	非常勤講師	清水 晶子				
30	非常勤講師	高本 雅哉				
31	非常勤講師	瀧澤 壮巨				
32	非常勤講師	武居 みさ				
33	非常勤講師	武井 陽子				
34	非常勤講師	竹前 健治				
35	非常勤講師	田所 治				
36	非常勤講師	寺内 昭子				
37	非常勤講師	中倉 典子				
38	非常勤講師	中島 嘉尚				
39	非常勤講師	長島 久				
40	非常勤講師	中村 雅彦				
41	非常勤講師	西澤 利広				
42	非常勤講師	西澤 弘行				
43	非常勤講師	野田 あゆ子				
44	非常勤講師	長谷川 孝治				
45	非常勤講師	藤田 直樹				
46	非常勤講師	藤森 由紀子				
47	非常勤講師	古屋 顕一				
48	非常勤講師	三沢 緑				
49	非常勤講師	水野 尚子				
50	非常勤講師	宮島 渡				
51	非常勤講師	村田(中井)紀代子				
52	非常勤講師	牟禮 梯子				
53	非常勤講師	望月 紀子				
54	非常勤講師	依田 敬子				
55	非常勤講師	輪 湖直子				
56	非常勤講師	Douglas Wayne Micheal				
57	派遣講師	櫻井 由香				
58	派遣講師	中村 良				
59	派遣講師	丸山 陽一				
60	派遣講師	村上 由紀子				
61	派遣講師	宮坂 光長				

平成28年度進路状況

学科	性別	卒業者数	就職			進学	
			希望者数	内定者数	内定率	希望者数	決定者数
幼児保育	男	13	13	12	92.3%	0	0
	女	84	76	76	100.0%	6	6
	計	97	89	88	98.9%	6	6
介護福祉	男	14	14	13	92.9%	0	0
	女	31	27	26	96.3%	4	4
	計	45	41	39	95.1%	4	4
看護	男	15	15	15	100.0%	0	0
	女	37	37	37	100.0%	0	0
	計	52	52	52	100.0%	0	0
専攻	男	2	2	2	100.0%	0	0
	女	8	8	8	100.0%	0	0
	計	10	10	10	100.0%	0	0
合計	男	44	44	42	95.5%	0	0
	女	160	148	147	99.3%	10	9
	計	204	192	189	98.4%	10	10

平成29年度 入試状況一覧表

平成29年4月28日

学科	試験区分	エントリー数	志願者数	合格者数	入学(予定)者数	備考
幼児保育学科 (募集定員 100 名)	AO	31	30	30	30	
	特別推薦	-	48	48	47	
	一般推薦	-	6	6	6	
	社会人	-	0	0	0	
	第一期	-	11	11	8	
	// 併願	-	0	0	0	
	第二期	-	7	7	7	
	追加募集	-	0	0	0	
	計		31	102	102	98
介護福祉学科 (募集定員 65 名)	AO	14	13	13	13	
	特別推薦	-	20	20	20	
	一般推薦	-	0	0	0	
	// 併願	-	0	0	0	
	社会人	-	0	0	0	
	// 併願	-	0	0	0	
	第一期	-	1	1	0	
	// 併願	-	0	0	0	
	第二期	-	1	1	1	
	// 併願	-	0	0	0	
	転科	-	1	1	1	
追加募集	-	5	5	5		
計		14	41	41	40	61.54%
看護学科 (募集定員 70 名)	特別推薦	-	17	17	17	
	一般推薦	-	34	29	29	
	社会人	-	5	3	3	
	再入学試験	-	0	0	0	
	第一期	-	34	24	15	
	第二期	-	14	9	8	
	計		-	104	82	72
専攻科 (募集定員 20 名)	第一期	-	2	2	2	
	第二期	-	1	1	1	
	追加募集	-	0	0	0	
	計		-	3	3	3
介護福祉学科 AO入試 内訳	試験区分	エントリー数	志願者数	合格者数	入学(予定)者数	備考
	AO I	1	1	1	1	
	AO II	7	7	7	7	
	AO III	1	1	1	1	
	AO IV	1	1	1	1	
	AO V	3	3	3	3	
	AO 随時1	1	0	0	0	
	AO 随時2	0	0	0	0	
	計		14	13	13	13

平成28年度 松本短大幼稚園教職員名簿

	職名	氏名	クラス名・備考
1	理事長・園長	銭坂久紀	
2	園長代行	山浦伴昭	29年3月退職
3	副園長	鳥羽寿々子	
4	主任教諭	続麻あゆみ	28年9月退職
5	教務主任教諭	米窪あや子	年中 すずらん組
6	教諭	児玉麻美	年長 ふじ組
7	教諭	渡邊千裕	年少 ばら組
8	教諭	古畑菜穂	年少 ひまわり組
9	教諭	平林愛夏	年中 ゆり組
10	教諭	上條由香子	年長 さくら組
11	職員	高橋富二	バス運行等

平成28年度 松本短大幼稚園年間計画表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金 新年年度準備	日 3才預かり開始	水 体験保育①	金 卒級懇談会 年長	木 預かり保育	木 防災訓練 保護者引き渡し	火 保育料納入日	火 文化の日	木 発行測定5	日 元日	水 卒級懇談会 年少・年中	水 誕生会
2	土	月 憲法記念日	木	月 体験保育②	金 預かり保育	日 遠足	水 発行測定4	金 餅つき体験会	月 振替休日	木 豆まき会	木 誕生会	1
3	日 新年年度準備 短大入学式	火 子どもの日	金 運動遊び指導	火 園舎清掃	土 預かり保育 新任者研修	水 体験保育入園説明会	木 運動遊び指導	火 発行測定3	土 預かり保育	日 預かり保育	日 誕生会	2
4	月 新年年度準備	水 運動遊び指導	水 園舎清掃	水 運動遊び指導	日 預かり保育	火 明善中林学習	金 運動遊び指導	水 発行測定4	日 預かり保育	月 預かり保育	月 誕生会	3
5	火 始業式	木 入園式	木 入園式	木 運動遊び指導	月 預かり保育	水 運動遊び指導	火 運動遊び指導	木 誕生会	火 発行測定3	火 預かり保育	火 ひよこ組⑩	4
6	水 入園式	金	火 保護者会総会	金 園舎清掃	火 預かり保育	木 明善中林学習	水 運動遊び指導	水 誕生会	日 発行測定4	日 預かり保育	日 ひよこ組⑩	5
7	木 入園式	土	水 保護者会総会	木 園舎清掃	水 預かり保育	金 明善中林学習	木 運動遊び指導	木 誕生会	月 発行測定3	月 預かり保育	月 ひよこ組⑩	6
8	金	日	木 保護者会総会	金 園舎清掃	木 預かり保育	土 明善中林学習	火 運動遊び指導	木 誕生会	火 発行測定3	火 成人の日	火 卒園記念写真	7
9	土	月	金 保護者会総会	土 園舎清掃	金 預かり保育	日 明善中林学習	水 運動遊び指導	金 誕生会	水 発行測定3	水 成人の日	水 卒園記念写真	8
10	日	火	土 保護者会総会	日 園舎清掃	土 預かり保育	月 明善中林学習	木 運動遊び指導	土 誕生会	木 発行測定3	木 成人の日	木 卒園記念写真	9
11	月	水	日 保護者会総会	月 園舎清掃	日 預かり保育	火 明善中林学習	金 運動遊び指導	日 誕生会	金 発行測定3	金 成人の日	金 卒園記念写真	10
12	火	木	月 保護者会総会	火 園舎清掃	月 預かり保育	水 明善中林学習	土 運動遊び指導	月 誕生会	土 発行測定3	土 成人の日	土 卒園記念写真	11
13	水	金	火 保護者会総会	水 園舎清掃	火 預かり保育	木 明善中林学習	日 運動遊び指導	火 誕生会	日 発行測定3	日 成人の日	日 卒園記念写真	12
14	木	土	水 保護者会総会	木 園舎清掃	水 預かり保育	金 明善中林学習	月 運動遊び指導	水 誕生会	月 発行測定3	月 成人の日	月 卒園記念写真	13
15	金	日	木 保護者会総会	金 園舎清掃	木 預かり保育	土 明善中林学習	火 運動遊び指導	木 誕生会	火 発行測定3	火 成人の日	火 卒園記念写真	14
16	土	月	金 保護者会総会	土 園舎清掃	金 預かり保育	日 明善中林学習	水 運動遊び指導	金 誕生会	水 発行測定3	水 成人の日	水 卒園記念写真	15
17	日	火	土 保護者会総会	日 園舎清掃	土 預かり保育	月 明善中林学習	木 運動遊び指導	土 誕生会	木 発行測定3	木 成人の日	木 卒園記念写真	16
18	月	水	日 保護者会総会	月 園舎清掃	日 預かり保育	火 明善中林学習	金 運動遊び指導	日 誕生会	金 発行測定3	金 成人の日	金 卒園記念写真	17
19	火	木	月 保護者会総会	火 園舎清掃	月 預かり保育	水 明善中林学習	土 運動遊び指導	月 誕生会	土 発行測定3	土 成人の日	土 卒園記念写真	18
20	水	金	火 保護者会総会	水 園舎清掃	火 預かり保育	木 明善中林学習	日 運動遊び指導	火 誕生会	日 発行測定3	日 成人の日	日 卒園記念写真	19
21	木	土	水 保護者会総会	木 園舎清掃	水 預かり保育	金 明善中林学習	月 運動遊び指導	水 誕生会	月 発行測定3	月 成人の日	月 卒園記念写真	20
22	金	日	木 保護者会総会	金 園舎清掃	木 預かり保育	土 明善中林学習	火 運動遊び指導	木 誕生会	火 発行測定3	火 成人の日	火 卒園記念写真	21
23	土	月	金 保護者会総会	土 園舎清掃	金 預かり保育	日 明善中林学習	水 運動遊び指導	金 誕生会	水 発行測定3	水 成人の日	水 卒園記念写真	22
24	日	火	土 保護者会総会	日 園舎清掃	土 預かり保育	月 明善中林学習	木 運動遊び指導	土 誕生会	木 発行測定3	木 成人の日	木 卒園記念写真	23
25	月	水	日 保護者会総会	月 園舎清掃	日 預かり保育	火 明善中林学習	金 運動遊び指導	日 誕生会	金 発行測定3	金 成人の日	金 卒園記念写真	24
26	火	木	月 保護者会総会	火 園舎清掃	月 預かり保育	水 明善中林学習	土 運動遊び指導	月 誕生会	土 発行測定3	土 成人の日	土 卒園記念写真	25
27	水	金	火 保護者会総会	水 園舎清掃	火 預かり保育	木 明善中林学習	日 運動遊び指導	火 誕生会	日 発行測定3	日 成人の日	日 卒園記念写真	26
28	木	土	水 保護者会総会	木 園舎清掃	水 預かり保育	金 明善中林学習	月 運動遊び指導	水 誕生会	月 発行測定3	月 成人の日	月 卒園記念写真	27
29	金	日	木 保護者会総会	金 園舎清掃	木 預かり保育	土 明善中林学習	火 運動遊び指導	木 誕生会	火 発行測定3	火 成人の日	火 卒園記念写真	28
30	土	月	金 保護者会総会	土 園舎清掃	金 預かり保育	日 明善中林学習	水 運動遊び指導	金 誕生会	水 発行測定3	水 成人の日	水 卒園記念写真	29
31	日	火	土 保護者会総会	日 園舎清掃	土 預かり保育	月 明善中林学習	木 運動遊び指導	土 誕生会	木 発行測定3	木 成人の日	木 卒園記念写真	30
備考	17	19	21	13	10	20	19	20	18	16	21	13

過去5年間の収支の推移

(単位：千円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	H27, H28差異
資金収支計算書						
学生生徒納付金収入	515,655	566,444	565,097	526,677	528,112	1,435
手数料収入	13,060	11,651	10,989	9,912	9,409	-503
補助金収入	135,136	107,425	136,393	100,124	111,981	11,857
付随事業収入	38,512	29,857	22,480	20,611	17,936	-2,675
受取利息・配当金収入	598	1,213	1,545	2,206	1,662	-544
雑収入	9,999	40,893	9,008	24,102	36,586	12,484
人件費支出	403,088	446,967	434,093	453,561	474,474	20,913
教育研究経費支出	83,396	88,294	83,636	78,208	79,142	934
管理経費支出	41,401	38,671	37,605	37,624	45,452	7,828
施設関係支出	26,875	1,733	49,827	5,417	185,028	179,611
設備関係支出	12,569	26,528	7,956	13,650	16,283	2,633
現金預金	764,982	873,672	1,037,818	1,127,391	836,273	-291,118
施設設備引当特定資産	0	0	0	0	200,000	200,000
現金預金特定資産計	764,982	873,672	1,037,818	1,127,391	1,036,273	-91,118
現預金前年度との差額	161,413	108,690	164,146	89,573	-91,118	
事業活動収支計算書						
事業活動収入計				684,212	705,874	21,662
事業活動支出計				636,100	671,921	35,821
人件費	403,829	447,352	435,490	453,561	477,884	24,323
教育研究経費	133,324	144,424	143,820	139,871	141,592	1,721
管理経費	45,148	42,362	41,507	42,612	51,489	8,877
当年度収支差額	93,746	108,308	69,318	30,741	-142,482	-173,223
翌年度繰越収支差額	-197,914	-89,606	-20,289	10,452	-132,030	-142,482

財務比率比較表

No.	番号	比率名	算式(×100)	平成27年度		平成28年度	
				本法人	全国平均 短大法人	本法人	
貸 借 対 照 表	1	自己資金は充 実されている か	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	90.2%	88.6%	90.2%
			繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	0.4%	-14.9%	-4.8%
			基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0%	97.5%	100.0%
	2	長期資金で固 定資産は賄わ れているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	63.5%	94.9%	67.9%
			固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	60.6%	88.8%	64.8%
	3	資産構成はど うなっている か	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	57.3%	84.1%	61.2%
			有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	57.0%	60.5%	61.0%
			特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	0.0%	18.4%	7.2%
			流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	42.7%	15.9%	31.6%
			減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	52.4%	52.2%	50.4%
4	負債に備える 資産が蓄積さ れているか	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	31.6%	25.5%	27.7%	
		運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.8	1.8	1.5	
		流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	774.2%	301.6%	573.2%	
		前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	791.5%	462.3%	577.4%	
		退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0%	59.1%	0.0%	
5	負債の割合は どうか	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	4.3%	6.1%	4.3%	
		流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	5.5%	5.3%	5.5%	
		総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	9.8%	11.4%	9.8%	
		負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	10.8%	12.9%	10.9%	
6	運用資産の保有 状況はどうか	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	91.9%	77.3%	81.1%	

事業 活動 収 支 計 算 書	1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7.0%	-0.2%	4.8%
	2	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	77.1%	62.7%	74.8%
			寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.1%	2.1%	0.0%
			経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.0%	1.5%	0.0%
			補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	14.8%	26.9%	15.9%
			経常補助金比率	$\frac{\text{経常費等補助金}}{\text{経常収入}}$	14.8%	26.0%	15.9%
	3	支出構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	66.3%	60.6%	67.7%
			教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	20.5%	27.3%	20.1%
			管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.3%	10.9%	7.3%
			借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.3%	0.0%
			基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.5%	11.1%	25.1%
			減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	10.5%	10.7%	10.5%
	4	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	86.0%	96.6%	90.5%
			基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	95.4%	112.7%	127.1%
			経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	7.0%	0.8%	4.9%
			教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	6.7%	-0.6%	4.7%
※	1	教育活動でキャッシュフローが生み出せているか	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	13.0%	10.3%	15.4%

※ 活動区分資金収支計算書